

第三次

# 足立区環境基本計画

改定版

概要版



足立区は、2050年  
CO<sub>2</sub>ゼロをめざしています。



2022（令和4）年3月

足立区 環境部 環境政策課

# 足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

区と区議会は2021（令和3）年3月23日、足立区環境審議会の意見を踏まえ、気候が地域を超えた非常事態であるとの認識をすべての区民・事業者・団体などと共有し、国や他自治体、企業とも連携を図りつつ、オール足立で2050（令和32）年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指すことを宣言しました。

CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現に向けて、まずは「足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」の周知活動を強化し、さらに支援策の充実により、オール足立で脱炭素社会を実現するしくみを構築します。また、国や東京都、他の自治体とは、補助金の活用や森林保全によるCO<sub>2</sub>吸収などさまざまな形で連携強化に努めます。



宣言式の様子（2021（令和3）年3月23日）

## CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ実現に向けた取組み

### 実現に向けた取組み

#### 家庭

- 住宅の省エネルギー化
- 高効率な省エネルギー機器の普及
- HEMS・スマートメーター・スマートホームデバイスの導入や省エネルギー情報提供を通じた徹底的なエネルギー管理の実施
- 脱炭素型ライフスタイルへの転換支援
- 機器の買い替え促進

#### 産業・業務

- 建築物の省エネルギー化
- 高効率な省エネルギー機器の普及
- トップランナー制度等による機器の省エネルギー性能向上
- BEMSの活用、省エネルギー診断等による徹底的なエネルギー管理の実施
- クールビズ・ウォームビズの促進

#### 運輸

- 次世代自動車の普及
- 燃費改善
- 環境に配慮した自動車使用等の促進
- 公共交通機関及び自転車の利用促進
- エコドライブの促進
- カーシェアリングの促進

#### 廃棄物

- プラスチック製容器包装の分別収集
- バイオマスプラスチック類の普及
- 第四次足立区一般廃棄物処理基本計画の推進

#### エネルギー

- 再生可能エネルギーの最大限の導入
- 再生可能エネルギー電力の購入促進

#### フロン

- ノンフロン機器への転換の加速、使用時の漏えい防止のための機器管理の徹底、機器廃棄時の放出防止へ向けた取組みの推進など

#### 吸収源

- 都市緑化等の推進
- 木材利用の推進
- 友好都市の適正な森林維持の支援

#### 区施設

- 建築物の省エネルギー化
- 高効率な省エネルギー機器の導入
- 次世代自動車の導入
- 木材利用の推進
- 電力排出係数が低い電力事業者への契約の見直し

今後の取組みにより、2018（平成30）年度の実績から2030（令和12）年度に削減が見込まれるCO<sub>2</sub>排出量は以下の通りです。

### 2018年度のCO<sub>2</sub>排出実績から2030年度に削減が見込まれる量

家庭	産業・業務	運輸	廃棄物	エネルギー	フロン	吸収源	区施設
10.5 (万トンCO <sub>2</sub> )	8.7 (万トンCO <sub>2</sub> )	11.1 (万トンCO <sub>2</sub> )	2.0 (万トンCO <sub>2</sub> )	61.1 (万トンCO <sub>2</sub> )	12.9 (万トンCO <sub>2</sub> )	0.4 (万トンCO <sub>2</sub> )	1.4 (万トンCO <sub>2</sub> )

# 2030（令和12）年度のCO<sub>2</sub>削減目標

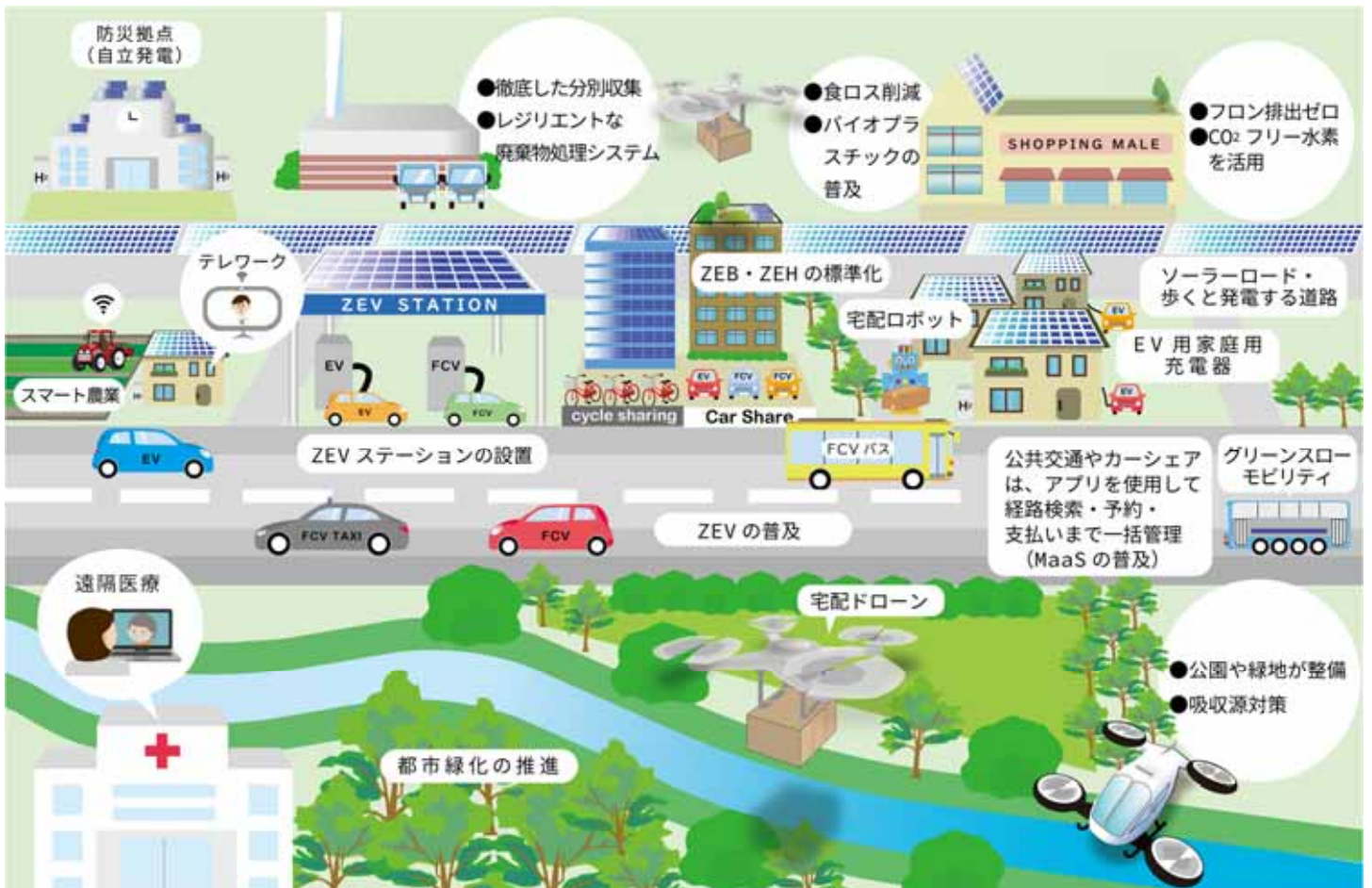
## 削減目標

2013（平成25）年度比 **46%以上** 削減 さらに **50%** の高みを目指します。



CO<sub>2</sub>排出量の推移と目標


## CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現した社会の姿（2050年のイメージ）





施策群ごとの目標	成果指標	目標値/現状値	本計画に含まれる計画
----------	------	---------	------------

	<p>エネルギーを効率的に使うことで、二酸化炭素の排出を減らす</p> <p>再生可能エネルギーの利用を拡大し、二酸化炭素の排出を減らす</p> <p>二酸化炭素吸収量を増やすことで実質ゼロにつなげる</p> <p>暑熱、気象災害の被害を少なくする</p>	<p>区内のエネルギー使用量【低減目標】</p> <p>再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量</p> <p>区内の二酸化炭素吸収量</p> <p>熱中症や気象災害による死者数【低減目標】</p>	<p>14,409TJ (2030年度) 23,175TJ (2018年度)</p> <p>30,000t-CO<sub>2</sub> (2030年度) 19,271t-CO<sub>2</sub> (2020年度)</p> <p>4,000t-CO<sub>2</sub> (2030年度) 3,744t-CO<sub>2</sub> (2020年度)</p> <p>0人 (2024年度) 17人 (2020年度)</p>	<p><b>足立区地球温暖化対策実行計画</b></p> <p>区内の年間CO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに、2013年度比で46%以上削減、さらなる高みとして50%削減を目指す</p> <p><b>足立区気候変動適応計画</b></p> <p>暑熱、気象災害の被害を少なくする</p>
--	--	--	--	---

	<p>廃棄物の量を減らす</p> <p>分別ルールに基づき排出された廃棄物を効率的に収集し、処理する</p> <p>事業者との連携により、廃棄物の資源化を進める</p>	<p>区が把握できる廃棄物の量【低減目標】</p> <p>燃やすごみに含まれる資源化物の割合【低減目標】</p> <p>資源化率</p>	<p>188,000 t (2024年度) 205,746 t (2020年度)</p> <p>14.8% (2024年度) 16.8% (2019年度)</p> <p>21.5% (2024年度) 19.98% (2020年度)</p>	<p><b>足立区食品ロス削減推進計画</b></p> <p>2030年度までに2019年度比で21.6%減</p> <p><b>足立区プラスチックごみ削減方針</b></p>
--	--	--	---	--

	<p>法令に基づく指導、対策と苦情への対応により、生活環境を維持・改善する</p> <p>地域の美化活動や不法投棄・ごみ屋敷対策により、きれいなまちをつくる</p>	<p>公害苦情の相談件数【低減目標】</p> <p>ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合</p>	<p>232件 (2024年度) 425件 (2020年度)</p> <p>50% (2024年度) 新規指標のため実績なし</p>	
--	--	--	--	--

	<p>自然や生物とのふれあいを通じて、生物多様性の大切さを理解する</p> <p>身近な自然環境を守り、増やす</p>	<p>自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合</p> <p>まちなかの花や緑が増えていると感じる区民の割合</p>	<p>世論調査の新規項目 2021年実績を踏まえ目標値を設定 新規指標のため実績なし</p> <p>31.6% (2024年度) 27.2% (2020年度)</p>	<p><b>足立区生物多様性地域戦略</b></p> <p>「ひと」と自然が相互に関わっていることを認識し、多様な生物と共生できるまちをつくる</p>
--	---	--	---	---

	<p>高い環境意識を持って行動する人を増やす</p> <p>環境配慮行動に取り組む人を増やし、活動を広げていく</p>	<p>日頃から環境への影響を考えて具体的に行動していると答えた区民の割合</p> <p>自主的な環境保全活動数</p>	<p>世論調査の新規項目 2021年実績を踏まえ目標値を設定 新規指標のため実績なし</p> <p>1,400回 (2024年度) 992回 (2020年度)</p>	<p><b>足立区環境教育等行動計画</b></p> <p>地球にやさしいひとのまち～かけがえのない地球環境を守るため、すべてのひとが自ら学び考え、実践するまち～</p>
--	---	---	---	---

# 各柱の施策と取組み

## 柱1 地球温暖化・エネルギー対策

### 1-1 エネルギーの効率的な利用

- ① 身近な省エネ行動の促進
- ② 高効率な設備・機器への更新
- ③ 建物の省エネ性能の向上
- ④ 低炭素な交通手段への転換

### 1-2 再生可能エネルギーの利用拡大

- ① 太陽エネルギーの利用促進
- ② 再生可能エネルギー・低炭素エネルギーの利用拡大

### 1-3 二酸化炭素吸収量を増やす取組みの推進

- ① CO<sub>2</sub>吸収量を増やす取組みの推進

### 1-4 気候変動による被害の回避・軽減

- ① 自然災害対策の推進
- ② 健康被害対策の推進
- ③ 気候変動の影響等の情報収集と影響への対応の啓発

### 【主な取組み】

- 太陽光発電、蓄電池、太陽熱利用システムの導入支援

設備導入費補助制度の充実等により、太陽エネルギーの活用を促進します。



- ハザードマップやマイ・タイムラインの普及拡大

足立区洪水ハザードマップ、風水害からの避難行動を事前に整理する「マイ・タイムライン」の普及拡大を行います。



足立区洪水ハザードマップ

「東京マイ・タイムライン」

## 柱3 生活環境の維持・保全

### 3-1 生活環境の保全と公害対策の推進

- ① 工場、事業場等への公害規制指導
- ② 大気、水質、騒音等の定期的な調査
- ③ 公害苦情の相談への対応

### 3-2 快適で美しいまちづくり

- ① 安全、快適を実現する計画的なまちづくりの推進
- ② 美しいまちの創出と維持
- ③ 土地・建物の適正な管理の推進

### 【主な取組み】

- 規制誘導を通じた景観形成の推進

不法投棄通報協力員制度や落書き110番、違反広告物対策ガイドライン等、施策の充実により、景観の維持向上に努めます。



不法投棄通報協力員制度

足立区違反広告物対策ガイドライン

## 柱2 循環型社会の構築

### 2-1 リデュースとリユースの推進

- ① 日常的なごみ減量行動の促進
- ② 資源ロスの削減
- ③ 身近なリユースを促すしくみづくり

#### 【主な取組み】

- 食品ロス削減につながるフードドライブやフードバンク、フードシェアリングの推進

#### ■ フードシェアリング

フードシェアリングアプリを運営する事業者と連携し、食品ロス削減を進めます。



#### ■ フードドライブ



家庭で余っている食品を既定の場所に持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する活動、フードドライブを推進します。

### 2-2 廃棄物の適正な排出と処理

- ① 排出ルール周知徹底とごみ集積所の美化
- ② 事業系廃棄物の処理責任の徹底と適正処理の向上
- ③ 社会状況の変化に即した適正処理のしくみづくり
- ④ 災害廃棄物の対策強化

### 2-3 持続可能な資源利用への転換

- ① 資源化品目の拡充とリサイクルを促すしくみづくり
- ② 水の循環の推進

- 折り畳み式ごみ収集ボックス（とりコン）の設置などによる不適正な排出をされない集積所美化対策の推進

とりコンを使用すれば、ごみが見えにくく、集積所がカラスや猫に荒らされることがなくなり、掃除の手間がはぶけます。



折り畳み式ごみ収集ボックス（とりコン）

## 柱4 自然環境・生物多様性の保全

### 4-1 自然や生物多様性に対する理解の促進

- ① 自然や生物への関心を高める取組みの推進
- ② 自然体験や生物とふれあう機会の充実
- ③ 生物多様性に対する理解の促進
- ④ 区内の身近な生物の調査と生息環境の保全

#### 【主な取組み】

- 生物園や都市農業公園、荒川ビクターセンターなどにおける講座や自然観察、体験学習の実施

### 4-2 自然環境の保全と創出

- ① 緑地、樹木、農地等の自然環境の保全
- ② 生物多様性を考慮した緑化や公園等の整備と維持管理

自然や生き物と接する機会を通じて、自然環境を育むことの大切さを学び、生物多様性に対する理解を深めます。



あだちの水辺の生き物調査隊

## 柱5 学びと行動のしくみづくり

### 5-1 環境意識の向上と行動する人材の育成

- ① 環境に関する情報、環境配慮行動の発信
- ② 環境への意識を高める場や機会の提供
- ③ 幼児向け環境教育の推進と体験の機会の提供
- ④ 小中学生向け環境学習の推進
- ⑤ 大人向け環境学習の推進と人材の育成

### 5-2 環境保全活動の拡大

- ① 環境に配慮した行動を促すしくみづくり
- ② 環境保全活動のネットワークづくり

#### 【主な取組み】

- 小中学生が自ら取り組むプログラムの実施

小学校高学年を対象にした環境学習ワークブックと、これに連動したデジタル教材を活用します。

区では、子どもたちが楽しみながら学べるように、さまざまなコンテンツを提供しています。



環境学習教材

## 進行管理と計画期間

毎年、本計画の施策がスケジュールどおり進捗しているかどうかを把握・評価し、進行管理を行います。

各施策の成果指標に従い、環境審議会で評価した結果を議会に報告し、「足立の環境」や区のホームページ等で公表します。

また、さまざまな機会を通じて区民及び団体や事業者等から広くご意見を伺い、次期計画への見直しの際に反映させていきます。

本計画は2024（令和6）年度までを計画期間としています。以降は、上位計画である「足立区基本計画」の改定内容を踏まえ、次期計画を策定します。



計画期間

	2017 H29	2018 H30	2019 H31/R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6
第三次環境基本計画	→ 計画の見直し					→		

### 第三次足立区環境基本計画改定版【概要版】

令和4年3月発行

発行 足立区

東京都足立区中央本町1-17-1

編集 足立区 環境部 環境政策課

電話 03-3880-6049